

平成28年度港湾関係研究奨励助成の決定について

平成28年12月吉日
公益社団法人 日本港湾協会
研究奨励助成事業 事務局

公益社団法人 日本港湾協会では、港湾の利用振興や発展等に役立つ経済、経営、計画、法律、文化などの研究を行う研究者や研究グループ等に対する研究奨励助成制度（選定者には1件100万円以内の助成）を平成16年度より設置しております。

本年度は日本港湾協会の情報誌「港湾」やホームページなどを通じ、平成28年9月1日から9月30日まで募集を行い、港湾防災や港湾経営、国際物流、港湾整備などの分野で18件の応募がありました。

研究奨励助成審査委員会（委員長 石原伸志 東海大学海洋学部 特任教授）で審査の結果、下記の5件の研究について助成を行うことと致しました。

なお、本研究助成は、来年度も継続して実施を予定しております。

1. 国際コンテナ港湾整備による国内および海外の地域別経済効果評価に関する研究
石倉 智樹（首都大学東京都市環境学部都市基盤環境コース 准教授）
2. ASEAN 貿易拡大を考慮したわが国港湾の運営戦略に関する研究
竹林 幹雄（神戸大学大学院海事科学研究科 教授）
3. 海事部門における集積の経済の検証と海事クラスターの形成メカニズムの解明ー日本港湾の国際競争力強化に向けた政策提言ー
松本 秀暢（神戸大学大学院海事科学研究科 准教授）
4. 国際拠点港湾の運営と物流の高品質化
後藤 孝夫（近畿大学経営学部商学科 教授）
5. 民間資本を活用したクルーズ船拠点港形成に関する調査・研究
ー船会社と旅行者のニーズ調査からー
亀山 嘉大（佐賀大学経済学部地域経済研究センター長 教授）